

Continue

YUTACOLOGY'S communication press

vol. **36**
2025 SUMMER



Bing image creatorを使用して制作したAI生成画像です

インタビュー対談

人生100年時代を健康で輝き続けるために

ナグモクリニック総院長・理事長 南雲吉則様

ユタコロジー 事故 & 異常発見 & クレーム報告

【2024年11月16日～2025年5月15日】

ユタコロジーは快適空間の創造×環境改善の見える化×SDGsでつながる事業を行っております。
環境改善の見える化のため、当社の発生事例をご報告いたします。

発生月	内 容	概 要
2024年 11月	業務外事故	健康診断受診時、レントゲン車で撮影室に入ろうとしたところ、自動扉が閉まり扉に指を挟んでしまった。指の骨にヒビが入ってしまった。
	お客様先備品汚破損	定期清掃作業時、タイルカーペットの洗浄をおこなっていた際に、ほつれ部分に洗浄機があたり、巻き込み事故を起こしてしまった。
12月	お客様備品紛失	定期清掃作業後、委託した協力会社が鍵を持ったまま別の現場へ移動し、鍵を紛失してしまった。
	通勤労災	業務を終え帰宅中に、自転車で転んでしまい骨折した。
	通勤労災	職場に向かう際、風で煽られ自転車で転んでしまい転倒した。
2025年 1月	お客様先備品汚破損	定期清掃作業時、お客様オフィス内にあったPCとモニタに汚水を垂らしてしまった。
	お客様からのクレーム	定期清掃作業時、高圧ホースをマンションの7階から6階へ作業手順書外の方法で移動させ、不安全作業をしてしまった。
	お客様からのクレーム	インフルエンザに罹患したクリーンクルーの復帰時期について、社内共有およびお客様へのご報告ができておらず、無断で2日間の契約不履行状態が発生してしまった。
2月	通勤労災	職場に向かう際、一般道路にて踏み転倒し、唇を切ってしまった。
	お客様先備品汚破損	日常清掃時、作業のため扉を開けたところ、突風に煽られて勢いよく開いてしまい、近くにあった照明器具にあたり破損させてしまった。
	業務中災害	巡回清掃時、キャノピーを乗車しコンビニを利用しようとして駐車場内へ進入。駐車場内で自動車とお見合いになり、避けようとしたところバランスを崩して転倒してし、足を挟んでしまった。
	業務中災害	日常清掃時、階段をモップ掛けしていたところ、踏み外し足を挫いてしまった。
3月	お客様先備品汚破損	日常清掃時、エアコン室外機のドレンホースを移動させようとしたところ、経年劣化があることに気付かず破損させてしまった。
	業務中災害	日常清掃時、敷地内の草むしりをおこなっていたところ、立ち上がった際に膝をケガしてしまった(半月板損傷)。
4月	車両の追突(被害者)	お客様先へ移動時、渋滞で後続車両から追突された。
	お客様からのクレーム	巡回清掃時、予約が必要な洗車スペースをご利用されていた居住者様へ申請をされたかどうかお声掛けをした際、サービス業として不適切な対応をしてしまい入居者様からお客様へクレームをいただいていた。
	お客様先備品汚破損	定期清掃作業時、清掃道具がお客様先にある記載台に当たってしまい破損させてしまった。
	社内清掃道具の破損	定期清掃作業時、清掃道具を運搬する際に手が滑り故障させてしまった(お客様設備への実害なし)。

特に、労災件数が増加していることから、営業担当およびYoutubeチャンネルにて安全啓発を繰り返し行っております。
お客様のWell-beingの根幹を担う当社として、快適空間創造と事故ゼロを目指し、改善に努めてまいります。引き続きご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

熱中症の重篤化防止

2025年6月1日 改正労働安全衛生規則施行にともない、熱中症の重篤化防止に関して弊社でも以下のような取り組みを行っております。

一人ひとりが人生100年時代をいつまでも輝き続け、またお客様にも安心いただけるよう会社一丸となって積極的に取り組んでいます。

(1) 熱中症にならないために

1

安全三大運動の徹底

- ①TBM・KY
 - ②声掛け運動
 - ③指差呼称
- で熱中症リスクも確認しあうこととしました。

2

Youtubeチャンネルや社内報等での啓発

熱中症にならないための生活習慣や水分補給のポイントなどを紹介しています。

3

塩飴の配布

各就業先を巡回しながらクリーンクルーへ塩飴の配布を行うとともに定期的な摂取を指導しています。



4

体温を下げるためのグッズをサポート

お客様先安全ルールの範囲内で使用が認められる各種グッズの導入をサポートしています。
※一定以上の熱中症リスクがあると認められる作業をおこなっている現場限定

シニアのスタッフは体温の変化に気づきづらいことも多いため、休憩取得や水分補給は早め早めに、小まめにおこなってもらうよう指導しています。

(2) 重篤化防止について

1) 連絡体制と必要措置の整備

もともとあった連絡体制に、熱中症症状レベルにより対応すべき措置を加えました。自身が熱中症の疑いがある場合はもちろんのこと、同僚やお客様に熱中症の疑いがある場合のフローも整備しました。

2) 従業員への周知

上記をまとめた資料を全クルーへ配布しました(5月28日完了)。
また、クリーンクルー控室での掲示が許可されている現場については、書面の掲示をおこない、有事の際に速やかに行動できるよう環境整備を行いました。



ナグモクリニック
総院長・理事長
南雲吉則様

ユタコロジー株式会社
代表取締役
酒井 秀京

テーマ

人生100年時代を 健康で輝き続けるために

2030ビジョンを掲げ

「Make Tomorrow Go Better - 今日よりも良いと思える明日を創る - 」を合言葉に

「建物と人のキレイと健康」に寄与する企業を目指している当社。

「がん予防」という観点から、人生100年時代を

健康で輝きつづけるための生活習慣についてお話を伺いました。

「がん」を見つけること、「がん」にならないこと

酒井 この度はインタビューの機会をご提供いただきありがとうございます。

弊社の主事業であるビルメンテナンス業界の主な担い手は女性の、しかもシニアの方々であるという点から、日本人の死因のトップである「がん」についてお伺いしたくお時間をいただきました。

まずは、日本における「がん」の現状を教えてください。

南雲 「がん」は戦前の結核の死亡率を超え、今や2人に1人が一生の間にがんを経験するという時代になりました。日本政府は2006年からがん対策基本法を施行し専門医を育成、早期発見・早期治療に力を入れてきました。それから約20年が経ちますが全く功を奏していません。かつてがん大国と言われたアメリカでは、がんの死亡率は1990年を境に減少しています。以前はアメリカは日本の2倍のがん死亡率であったにもかかわらず、現在ではアメリカのがん死亡率は日本の1/2となっています。

酒井 一方では結果が出ているアメリカと、そうではない日本。何が違うのでしょうか。

南雲 がんに対するスタンスの違いがあります。アメリカも以前は早期発見・早期治療を掲げて多くの予算を充てていましたが、それでは死亡率は減少しないということがわかり、がん患者自体を減らす方向に舵をきりました。代表的なもので言えば、経済成長と共に肺がん患者数が増加したことから、1970年代から国を挙げての禁煙運動を始めたのです。これが功を奏し、1990年代から逆Vの字で患者数が減少しました。

酒井 なるほど。早期発見・早期治療ではなく、予防に重きを置

いたわけですね。

南雲 はい、これが人類の英知だと思います。検診ではなく、予防に力を入れていかなければならない。では、何をすべきなのかということを考え、今から10年前に始めたのが「命の食事」という啓発です。がんは生活習慣病、特に食生活に起因する病気ですから、どのような食事を摂れば良いのかという発信を行ってきました。

人生100年時代を若々しく輝くために

酒井 がん予防のための食事習慣を教えてください。

南雲 基本的には必須栄養をきちんと摂ることです。何が必須かというとビタミン、ミネラル、そしてタンパク質と必須脂肪酸です。必須脂肪酸というのは青魚の中に含まれているオメガ3の脂肪酸、EPAのことです。では、何が必須栄養で無いか。これは糖質です。白米・パンや麺の小麦粉、砂糖のような精製糖を過剰に摂るのは止めましょう、ということを命の食事の骨子としています。

2022年にヨーロッパ5カ国でビタミンDと必須脂肪酸のEPA、有酸素運動、この3つのどれががん罹患率を一番減らすのかという臨床試験が行われました。70代以上の健康な人たち2000人を無作為抽出で行われたこの試験では、それぞれ30%のがん罹患率が減り、3つとも同時に試験を行った集団ではなんと61%も減少しました。この3つを国民に普及させれば61%のがん患者を減らせる、つまり予防医学をやっていかなければならない、ということです。

ナグモクリニック総院長・理事長
南雲吉則様

東京慈恵会医科大学医学部を卒業。東京女子医科大学形成外科、癌研究会付属病院外科、慈恵医科大学第一外科乳癌外来医長を経て、乳房総合医療ナグモクリニックを開業。メディア出演多数。乳がん、乳房再建、がん予防の分野で高く評価されている。

ナグモクリニック
<https://www.nagumo.or.jp/>

命の食事プロジェクトWEBサイト
<https://inochinoshokuji.or.jp/>



酒井 これは大きなショックを受ける話ですね。早期発見・早期治療が大切であり、それをしたとしても遺伝でかかってしまう、一種の諦めるべき病気だと思っていました。

南雲 そうですね。遺伝は全く関係ないというわけではないですが、全体のがんの中で5-10%なんです。また、早期発見・早期治療に食生活や運動の改善指導が伴っていれば良いのですが、多くの方は検診結果が問題なければ安心して煙草も吸えば酒も飲もうとなりますよね。欧米では保険で検査して、保険で例えばビタミンDのサプリメントを処方するなどして、具体的な栄養の指導もやってくれます。では、今日現在改善指導が仕組化されていない日本で、お金をかけずに、どのような習慣をおくれば良いか。これは①ビタミンDを生成するために日光浴をすること②イワシやシシャモのような小魚を毎日摂ること③車を使いすぎず仕事場やスーパーへの買い物では歩く、これだけです。

酒井 そんな簡単なことで良いのです。

南雲 そうですね。欧米人は薄着で散歩したり公園で裸で日光浴したりと、生活の中にビタミンDを生成する文化が根付いていますが、日本は日焼けしていない肌が美しいとされる国ですから、過度な日焼け止めを使用したりすることで日本人の98%はビタミンD不足になっています。もうね、公園で日に当たりながら散歩して小魚を齧るべきですよ(笑)。

酒井 弊社で掲げている“今日よりも良いと思える明日を創る”は、人生100年時代を健康で輝きつづけることをテーマとしていますが、もう一步踏み込んで何かアドバイスをいただけますでしょうか。

南雲 先にもお伝えしたように、精製糖を過剰に摂取しない食生活を心掛けることです。日本の食生活では主食は「白米」ですが、海外と比較すると、このように炭水化物を主食とする国は珍しいんですよ。米を食べるためにおかずの味付けが濃くなる。そうすると塩分や脂質も過剰になりますよね。だから、「おかず」を



食べることを推奨しています。野菜、特に緑黄色野菜を中心に赤身肉や青魚など「色」がある食べ物を摂り、必要であれば最後に少しの米を摂る。米と言っても雑穀米や赤飯など、それ単体で食べられるものですね。間食にしても、お菓子やスイーツではなく、ナッツやチーズを食べる。慣れるまで違和感があるかもしれませんが



癌になっても遅くはない！

医学博士 南雲吉則

生活習慣改善は食事が大切ということを考える中心に、血液栄養解析で病気の原因を解明し、病気を治す「ビタミン」「油」「抗酸化物質」をわかりやすく解説する。

YOUTUBEチャンネル
【Dr.ナグモの命の食事】



が、この習慣が健康寿命を延ばす秘訣です。私も今年で70歳になりますが、この食生活に適度な有酸素運動と日焼けで、非常に元な毎日を送れています。

酒井 非常にシンプルでわかりやすいアドバイスをいただきありがとうございます。取り組みやすいアドバイスばかりで、とても勉強になりました。人々のウェルビーイングに寄与できるよう、本日はいただいたお話を沢山のの人に発信していきます。

本日は貴重なお話をいただきありがとうございました。

ピンクリボンイベント2025

～乳がんに対する知識を深めよう～

【開催日時】
2025年9月28日（日）
10時～18時予定
【開催場所】
栄オアシス21
銀河の広場



乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の早期受診を推進することを目的としたイベント。参加無料

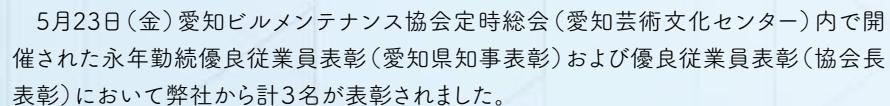
南雲吉則先生を実行委員長にお迎えし、名古屋でピンクリボンイベントを開催いたします。乳がんについて正しく知ることは、自分や大切な人の命を守る第一歩。このイベントでは楽しみながら理解を深めていただける機会となるよう心を込めて準備をしています。当日は南雲吉則先生の講演もご紹介します。ぜひご来場くださいませ！

NPO法人Tetteluce 理事長 加藤千恵子



ビルメンテナンスのあらゆる現場を担う業務部より、旬なニュースをお届けします！

クリーンクルーが永年勤続優良従業員・優良従業員として表彰されました!



これは、建築物清掃業等における従業員の定着化を高めるとともに、従業員の資質の向上を図り環境衛生の向上に資することを目的に開催されており、永年勤続優良従業員表彰は、①愛知県内の現場従業員であり②建築物における衛生的環境の確保に関する法律第12条の2第1項各号に定める登録事業に従事しており③同一事業所(会社)に15であることの全てを満たす必要があります。

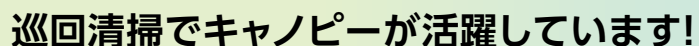
また、優良従業員表彰は、①同一開設者の事業所及び団体において、引き続き15年以上業務に従事していること②品行方正、勤務成績良好で他の従業員の模範となる者であり、当該事業所及び団体の従業員として表彰することが適当と認められること、など5つの要件を満たした従業員が対象となります。

「今日よりも良いと思える明日を創る」ことで、他のクルーの皆さんにも1日でも永く活躍いただけるよう尽力してまいります。
青木さん、山村さん、天野さん、この度はおめでとうございます！

青木 房
日本ガイシ株式会社様勤務（勤続17年）

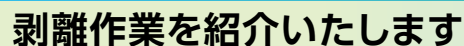
山村加代子
東桜会館様勤務(勤務22年)

天野貞子
ウインズ名古屋様勤務(勤続18年)



前号ではテスト運用中だったバイク巡回清掃本格運用がスタートしました。テスト時と同様に、時間仕様のない物件の共有空間清掃を行う部隊として巡回しております。駐車場が不要で小回りが利くため、高い機動力でより充実したサービスを提供することが可能となりました。

お客様からのご要望に応じて順次増員し、お役立ちできるよう配置してまいります。



透明に見えるワックスも経年による変色、傷になって定期清掃では取り切れない汚れなどで黒くなっていきます。

これをリセットして綺麗にすることを剥離作業といいます。美観を保つことはもちろん、建物と人のキレイと健康に寄与することを掲げている当社は、快適に過ごしていただける環境創造でお役立ちしていけるよう精進してまいります。



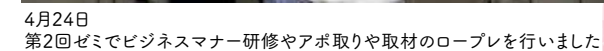
空間と人のキレイと健康へ寄与する事業を推進するユタコロジー。
Well-beingな取り組みをお知らせいたします。

REPORT 1 / 産学連携プロジェクト2025がスタートしました♪

今年で4年目となる梶山女学園大学現代マネジメント学部東ゼミとの産学連携プロジェクトがスタートしました。

制作物はこれまでと同様に『働きながら輝く-Work in beautiful life-』をテーマにした「学生の、学生による、学生の
ための女性活躍雑誌」です。

これから半年ほどの間に学生自身がアポ取りする企業様や協賛企業様など、全部で15社程度の企業様について研究・取材・原稿づくりを行います。



デザインも学生自身でプロデュースすることから、今年はどのような雑誌になるのか、私たちが今から楽しみにしています。

☆公式Instagramも運営していますので、
こちらをあわせてご覧ください♪



4月10日
新3年生の第1回ゼミでキックオフミーティングを行いました。

REPORT 2 / スマホ教室を開催しました

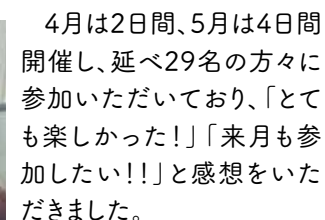
弊社クリーンクルーを対象に「スマホを使うことが、楽しくなる!!スマホ使い方教室」を開催しました。

昨年から出勤表をはじめとして様々な社内書類をデジタル化しています。

弊社に勤務のクリーンクルーはシニア層が多く、普段あまりスマホを使わない方もいらっしゃいます。

そういった方々に向け、スマホの使い方をサポートする教室を開催しました。

2030ビジョン「今日よりも、良いと思える明日を創る」のもと、ただ会社のツールが使えるようになるだけではなく、スマホを使いこなして人生を楽しく彩るお手伝いすることを目的としました。



会社で使うシステムやアプリの紹介だけでなく、今後は普段の生活が一層たのしくなるようなコンテンツを開催予定です。

お客様だけでなく従業員のWell-beingにも寄与できるよう、これからも挑戦を続けてまいります。



みんなでQRコードの読み取り方を学んでいます。教室の最後には、慣れた手つきでQRコードを読み取ってアンケートに回答いただけるようになりました。

REPORT 3 DEXPO2025名古屋に出展しました



6月10-11日@ポートメッセなごやで開催されたDEXPO2025名古屋に出展しました。

この展示会は、DXコンテンツを中心としたバックオフィス業務に関する展示会で、弊社は健康経営カテゴリの業務サポート・フェムテック分野の企業として出展。愛知県内を中心に、Well-beingや女性活躍に関心がおありの企業様から多くのお問い合わせをいただきました。

各社様おかれている状況は様々で、本質的・戦略的なWell-being・女性活躍を推進しようとする場合、画一的なサービスではお役立ちが難しい点もあり、現在提供している半オーダーメイド型のサービスのニーズに確信をもつことができました。

次回は8月19-20日@東京ビッグサイトに出展いたします。ご関心・ご興味をいただけましたら、招待券をお送りいたしますのでぜひお声掛けくださいませ。

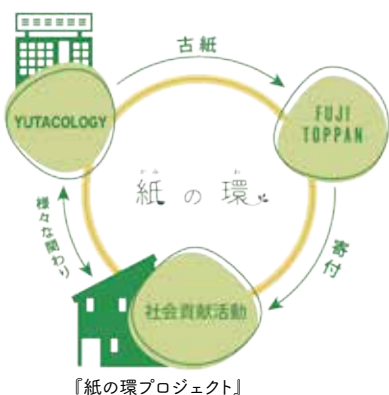


REPORT 4 資源ごみのリサイクルを行いました

弊社では、クリーンクルー、業務部が使用したポロシャツ、ズボン等古いユニフォームを回収し、全量をリサイクルしています。今回は130枚、重さ37.4キロのユニフォームを、古着リサイクル、マテリアルリサイクル、ケミカルリサイクル用として処理を行いました。今後も継続して使用済みユニフォームのゴミ削減、再生化に取り組んでいきます。

また、森林資源を守り循環する「紙の環プロジェクト」(主宰/富士凸版印刷)に賛同。2025年1月-5月で弊社が回収に協力した古紙重量は173キロでした。古紙のリサイクル益は緑の募金等へ寄付され、社会貢献活動に活かされます。

社会とのつながりもWell-beingでいられるよう、これからも地球、地域に貢献できるよう小さな事もコツコツと継続してまいります。



ユニフォームリサイクル

